

点検評価シート

財団法人石巻市文化スポーツ振興公社

代表者名	理事長 北村 悦朗	所管部課	教育委員会歴史文化資料展示施設整備対策室
所在地	石巻市南浜町一丁目7-30	設立年月日	平成元年2月22日

1 設立目的・経過

- 平成元年2月22日石巻市文化振興公社設立
- 平成16年4月1日石巻市スポーツ振興財団と統合
- 設立目的は、文化、スポーツ活動の普及振興を図るための事業を行い、心身ともに健康な明るい市民生活の形成に寄与すること。
- 平成元年から市民会館、平成9年から石巻文化センターの管理運営を受託
- 平成18年度から石巻文化センター、市民会館の指定管理者

2 出資・出捐状況 (単位:円)

区分	出資・出捐金額	比率
石巻市	120,000,000	99.13%
他自治体	0	0.00%
その他	1,050,000	0.87%
計	121,050,000	100.00%

3 経営状況 (単位:円)

損益計算書(P/L)				貸借対照表(B/S)		
売上高又は当期収入額合計	経常利益(損失)又は当期正味財産増加(減少)額	当期利益(損失)	減価償却費	総資本/資産合計	他人資本/負債合計	自己資本/資本合計
180,690,636	3,904,392	3,337,495	0	192,817,701	22,457,975	170,359,726

4 財政支出 (単位:円)

調査対象法人への財政的支援					委託事業	
補助金交付額	貸付金残高	損失補償限度額	損失補償契約に係る債務残高	債務保証契約に係る債務残高	事業内容	委託料(人件費含む)
6,700,000	0	0	0	0	文化センター指定管理料 市民会館指定管理料	118,204,884

5 組織

①役員数

常勤		1
	うち市OB	1
	うち市職員	0
非常勤		12
	うち市OB	0
	うち市職員	2
計		13
	うち市関係者	3

②職員数

常勤		19	※正職員 平均年齢 36.4歳
	うち市OB	0	
	うち市職員	0	
非常勤		0	
	うち市OB	0	平均勤続年数 12年9月
	うち市職員	0	
計		19	
	うち市関係者	0	

6 評価指標/評価一覧

指標	計算式	数値	過去3年平均伸び率等	評価
健全性	自己資本/総資本 ※土地開発公社除く	88.4%	—	良好
	流動資産/流動負債	393.7%	—	良好
	補助金/売上高(経常収益)	3.7%	91.6%	概ね良好
	自己資本-資本金 ※マイナスの場合	—	—	—
目的適合性	収益事業の事業費/全事業費 ※公益認定を受けた法人のみ	—	—	—
収益性採算性	経常利益(損失)又は一般正味財産増減の部の当期経常増減額	3,904,392	3年連続黒字	良好
	売上高(経常収益)の対前年比	98.9%	97.7%	標準
効率性	管理費/経常費用 ※一般社団法人又は一般財団法人のみ	50.1%	99.80%	標準
	人件費/売上高(経常収益)	44.9%	102.6%	標準

7 事業実績及び効果

- 平成21年度に当財団が指定管理者として管理運営する施設は、文化センターと市民会館の2施設である。また、石巻市における芸術文化振興事業経費については、平成19年度から財団に事業補助金として一括交付されている。
- 1 芸術文化事業
下記のとおり多くの市民に鑑賞機会を提供し、地域芸術文化の活性化及び市民の意識の向上を図った。
(1)米空軍太平洋音楽隊演奏会等招聘公演鑑賞事業 (6件入場者数6,676人)
(2)ジュニアヴァイオリン教室等育成事業(2件入場者数1,030人(述べて含む))
なお、幼児対象公演事業については、新型インフルエンザのため中止となった。
(3)第4回カラオケグランドチャンピオンシップ市民参加型事業(予選参加者66名、大津波警報発令により中止)
(4)NHK公開番組「ふるさと自慢うた自慢」等共催事業(5件入場者数11,657人)
- 2 スポーツ事業
体育協会及び各実行委員会のイベントの共催や運営協力等を行い、市民の自主的なスポーツ活動を推進した。
(1)東北楽天ゴールデンイーグルス観戦事業(1件参加者85人)
(2)石巻シーサイドマラソン大会等共催事業(2件1,914)
- 3 施設の管理運営事業
文化センターと市民会館について、下記のとおり管理運営を行い、市民サービスの向上とホール・研修室等の利用の効率化を図り、安全かつ適正な管理運営に努めた。
(1)文化センター指定管理料93,738,238円 施設利用件数(延べ)2,072件(前年対比101.3%)
(2)市民会館指定管理料 24,466,648円 施設利用件数(延べ) 381件(前年対比86.2%)

8 経営上の課題、問題点等

- 1 補助金比率が「良好」から「概ね良好」に1ランク下げたが、この主な要因は、平成19年度と平成20年度に2カ年連続で補助金を5%以上削減した前回の評価に対し、平成21年度は、補助金を据え置きとしたためである。本指標は、補助金収入への依存度を表す指標であり、問題ないと判断する。
- 2 売上高伸び率が「要観察」から「標準」に改善された。この主な要因は、本指標は3カ年の前年比較を表す指標であり、前回の評価対象である平成18年度の指定管理料が対前年比較で大幅に削減され、これが売り上げの減少として反映したためである。今後、平成22年度までは、売り上げの大半を占める指定管理料は同額となるため、指標は横ばいとなる見込みである。
- 3 管理費比率と人件費比率の2つとも「要観察」から「標準」に改善されたが、この主な要因は、分子となる人件費が、石巻市職員に合わせ期末手当を0.5カ月分削減したためである。
- 4 他の指標は、いずれも横ばいであり、また、平成21年度における当期収支差額も3,731,086円確保しており、経営状況は安定していると思われるが、平成23年度以降に掲げるとおり大きな課題がある。
- 5 当財団は、平成18年度から5カ年間で、石巻市民会館と石巻文化センターの指定管理業務を行っているが、指定管理期間が満了となる平成23年度以降、当財団の主事業である両施設の指定管理について、次のとおり大きな課題があり、平成22年度において、関係各課による検討がなされている。
(1)市民会館:平成22年度に建物で安全にしようできるかどうか耐震診断が実施され、その結果によっては使用停止も予想されること。
(2)文化センター:歴史文化資料展示施設の改修工事のため23年6月から24年3月まで休館になること。

9 総合評価

1. 概ね安定している。 ② 経営課題の検討を要する。 3. 経営改善を要する。
- 経常収益(売上高)については前年度と比較して若干の減少となっているが、事業費や管理費の削減に努めるなど、経常利益を計上しており、安定した経営状況にある。
しかしながら、経常収益(売上高)の約65%を占めている指定管理料については、平成23年度以降、文化センターの休館や市民会館の耐震診断結果によっては使用停止が予想されるなど、公社の経営に多大な影響を及ぼすことから、早期に対策についての結論を出す必要がある。